



発行：総務部会 2018年6月

# 南の会電子ニュース

## 阿部理事長就任挨拶

阿部 滋敏 会員番号1607番

この度、平成30年度通常総会にて大野理事長の後任として理事長の大役を申し付けられました。会員番号1607番の阿部滋敏と申します。

平成25年に入会、平成26年に理事を拝命し、平成27年に副理事長、総務部会長、平成28年に関東甲信越支部長を務めさせて頂きました。経験も浅く頼りない理事長ですが、会員皆様方のお力をお借りし、この会を「楽しく、仲良く、情報交換ができる会」にして行きたいと思っております。

ロングステイフェアへの積極的な関わりなど、従来より会員数を増やす努力はしていますが、世の趨勢で定年延長により新入会員は減少傾向にあります。

さらに当会も来年、創立20周年を迎え、60歳で入会された方も80歳となり、海外ロングステイを卒業、国内回帰され、退会者の増加に繋がっています。平成26年度末の会員数602名に対し、平成29年度末の会員数は442名と160名の減少、率としてマイナス27%となっています。理事も平成29年度の18名に対して平成30年度は12名、マイナス34%となっており、大幅に規模縮小を余儀なくされました。

係る事態を踏まえ、平成30年度は事業規模の適正化検討を進めて行きたいと考えています。先ず、会報に記載させて頂いた「事業の方針」の第1項、会報事業の見直しです。会報部会を中心に「IT化検討特別委員会」を立ち上げ、ネットワーク社会を加味した会報の在り方を検討したいと思います。第4、第5項では「南国暮らしの会掲示板(BBS)」に加え、昨年復活し、評判の良い「南国ML」、さらに「南国暮らしの会HP」の積極活用のPRを進め、効率的に事業を推進し、魅力ある会の発展に繋がりたいと思います。

第12項では平成31年度に予定している創立20周年記念行事への対応を総務部会を中心に特別委員会を設置し、検討を開始していく予定です。

今後、役員一同、会の存続、発展に向け、可能な限り尽力する所存ですので、会員の皆様方に於かれましても温かいご指導とご支援を頂きますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



## 理事長退任のご挨拶 南国暮らしの会 前理事長 大野 悦子

平成30年度（第21期）総会を終え、6年間務めさせて頂きました理事長を退任致しましたので、一言ご挨拶をさせて頂きます。

この間、会運営にあたり理事及び役員の方々、又、各支部長、支部役員の方々には多大なご協力を頂き、会員の皆様にはご理解とご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

六年前に理事長就任へのお話を頂いた折には、私に務まるのか心配と不安でいっぱいでしたが、平成13年の秋に入会して、平成15年の秋から前任者の後を引き継いで 歴代の理事長のもとで6年間勉強をさせて頂いたことを思い出し、お引き受けさせて頂きました。

6年前に就任した頃は、新規入会者が減少し始めておりました頃で、入会者が来るのを待っているだけではいけないと感じ、「ロングステイ・フェア」を利用させて頂こうと副理事長お二人とご一緒させて頂いて、ロングステイ財団の事務所に出向き「ロングステイ・フェア」に参加させて頂きたいとお願いを致しました。当日、財団のブースの片隅にテーブルを頂いて理事の方々のご協力のもと、会のPRをすることが出来、早速、その効果が表れて翌年の新規入会者が、前年の1.5倍になりました！！

この6年の間、創立15周年記念行事もあり、「南国ML」も復帰出来、チェンマイでの「義肢財団」へ「古ストッキングの提供」活動も再開されました。

理事長をお引き受けした時、2年間のつもりが、いつの間にか6年もの長きに亘り、いろいろご迷惑をお掛けしながらも務めてこられましたのは、理事や監事の皆様が支えて下さったお陰と感謝致しております。長い間、お世話になりました有難うございました。

最後に、次期理事長を引き受けて下さった阿部新理事長に是非、皆様のご援助を頂き会の運営がスムーズに行くようご協力下さいますようお願いを申し上げて退任の挨拶とさせて頂きます。

大野悦子 会員番号434番



**特定非営利活動法人南国暮らしの会 平成 30 年度（第 21 期）通常総会議事録**

1. 日 時 : 平成 30 年 5 月 27 日（日） 時間：10：00～11：50
2. 場 所 : 東京都品川区大崎 1-11-1 東京都南部労政会館 第 6 会議室
3. 正会員数 : 417 名
4. 出席者数 : 215 名（内、総会出席者 34 名、書面・電子表決権者 181 名）
5. 審議項目
  - (1) 第 1 号議案：平成 29 年度事業報告及び会計報告・監査報告について
  - (2) 第 2 号議案：理事退任、選任理事の信任について
  - (3) 第 3 号議案：監事退任、監事選任について
  - (4) 第 4 号議案：平成 30 年度事業計画（案）について
  - (5) 第 5 号議案：平成 30 年度活動予算（案）について
  - (6) 第 6 号議案：定款変更について

**6. 議事の経過の概要及び議決の結果**

司会進行役の阿部理事は、今総会の表決権所持会員数が 417 名であり、出席者 34 名、委任状 181 名、合計 215 名で定款第 26 条の規定、即ち正会員数の 1/3 以上の出席を満たしており、本日の通常総会が成立することを説明した。

次に定款第 25 条の規定により議長として会員 NO. 1763 小西隆司理事を推薦し、満場一致で議長に選ばれた。

議長は開会を宣言し、議長の立場からもこの総会が成立している事を再確認し、まず総会における議事録を確認して頂く議事録署名人として NO. 1068 山科監事を選任、書記は、NO. 1225 高橋理事を選任し賛成多数で承認された。

次に、審議の進め方の説明を行い、議案の審議に入った。

**「議案の審議」****(1) 第 1 号議案 「平成 29 年度事業報告及び会計報告・監査報告について」**

大野理事長が平成 29 年度事業報告書（会報春季号 P. 3～12 参照）に基づき詳細な報告を行った。続いて瀧川理事が同年度の会計収支計算書、貸借対照表（会報春季号 P. 13～14 参照）に基づき詳細な決算報告を行った。

「会計収支計算書」の中で収入の部、入会金予算額は、220,000 円であったが、実績は 295,000 円と上がったが、会費収入予算額の 2,690,000 円に対して 2,620,000 円と減少となり新規会員は増加しているが、継続会員の減少が読み取れると説明がなされた。

支出の部で、広報活動事業費がややオーバーしているのは、インターネットのプロバイダー（ベッコアメ）への支払い（68,450 円）が、平成 29 年 4 月 8 日と 3 月 31 日の 2 回あった為との説明がなされた。

その他、「貸借対照表」の科目で「郵便振替口座」と「定額貯金」の金額が一行ずれて記載されているが、一行づつ上にずらすようにとの訂正がなされた。

肥後監事から、監事は理事会にも出席し、理事活動等を確認、4 月 8 日に監査会を開催し、当会は同定款に基づき適正に運営され、収支計算書はいずれも正確であるとの報告が「監査報告書」（会報春季号 P. 15「監査報告書」参照）に基づき行われた。

**※（本議案に関する質問・要望事項）**

質問：貸借対照表の正味財産の部のなかで、事業拡張準備金は、どういふお金なのか？  
（橋本会員）

回答：初代、2 代目理事長は本の出版などを考えていたが、5 周年記念の時は、「会旗」を作成

して各支部に配布したり、会員証のストラップ作成をして全会員に配布。10周年記念の時には、会報の10周年記念号の作成、会報バックナンバーのCD作成などに利用した。15周年は、各支部でサロン会開催の費用に充てた。2019年に創立20周年を迎えるので、その記念事業の準備金として引き当てたい。

(大野理事長)

議長は質疑応答の後、第1号議案について賛否を諮り、出席者34名+書面・電子表決権者181名、計215名の満場一致の賛成で、定款第27条に基づき可決承認された。

## (2) 第2号議案 「理事退任、選任理事の信任について」

大野理事長より、退任理事名、新任理事名が理事会において選任されたので信任して欲しいとの要請があった。

- ① 退任理事：NO. 434 大野悦子、 NO. 1388 寺田光江、 NO. 1208 宮原正宇、  
NO. 1208 澁谷幸一、 NO. 670 今野力男、 NO. 1032 瀧川清人  
NO. 1431 兼森省治、 NO. 173 平山三雄、 NO. 1668 槇野昭一  
NO. 888 勝本隆文、 NO. 1704 北峯康夫
- ② 新任理事：NO. 1601 高島 恵、 NO. 1657 久保田清文、 NO. 1682 守田 章  
NO. 1712 定國 和、 NO. 1717 丸山俊江
- ③ 再任理事：NO. 1225 高橋眞治、 NO. 1575 吉田 博、 NO. 1607 阿部滋敏

## (3) 第3号議案 「監事退任、監事選任について」

同じく退任監事1名、再任監事1名の選任、承認の要請があった。

- ① 退任監事：NO. 1591 肥後信彦
- ② 再任監事：NO. 1068 山科滋雄

議長は、第2号議案、第3号議案の賛否を諮り、出席者34名+書面・電子表決権者181名中、計214名の賛成多数で定款第27条に基づき可決承認され、被選者は就任を承諾した。

## (4) 第4号議案 「平成30年度事業計画(案)について」

大野理事長より平成30年度事業計画(案)(会報春季号P.16参照)に基づき詳細な説明がなされた。

会報発行年3回は、担当理事が減少したこと、事業費の6割を占める発行費用・発送費用の値上げで財政を圧迫するため試験的に年2回(新年号、春季号)の発行とする。不足分の情報は、MLやBBS等で見られるように考えている。「特別委員会」を立ち上げて検討を開始する。

広報活動は、海外支部にも協力を得て、その他、タイ、マレーシア、フィリピンなど各国の観光省やロングステイ財団やイカロス出版社との連携を上手くして活動を進める。友好団体とも交流を深めて、情報の交換を進めていきたいと考えている。

2019年に創立20周年を迎えるので、記念行事も考えて「特別委員会」を立ち上げたいと考えているとの説明がなされた。

※(本議案に関する質問、要望事項)

質疑応答：質問、要望等無し

議長は質疑応答の後、第4号議案について賛否を諮り、出席者34名+書面・電子表決権者181名、計215名の満場一致の賛成で、定款第27条に基づき可決承認された。

## (5) 第5号議案 「平成30年度活動予算(案)について」

瀧川理事より平成30年度活動予算(案)(会報春季号P.17参照)に基づき詳細な説明があった。

収入の部、入会金収入 平成29年度 220,000円に対し平成30年度は、225,000円でわず

かだが、上昇させた。会費収入は平成 29 年度は 2,690,000 円に対し平成 30 年度は、2,600,000 円で減少傾向が続くと見ている。

支出の部では、事業費合計で、平成 29 年度は、2,168,000 円だったが、平成 30 年度予算では、1,800,000 円とした。会報発行を年 3 回から 2 回にして、280,000 円削減、それに伴い、メール便、海外送料費も 90,000 円削減して、当期支出合計予定額は 2,594,000 円で、前期より 368,000 円の減額予定との説明がなされた。

※（本議案に関する質問、要望事項）

質問：会費収入が前年度より少なく見積もったのは、なぜか？（橋本会員）

回答：入会者が昔と比較すると年々減少して、ここ 2～3 年は、年間 40～50 名である。会の創立時に入会された方々は 20 年が経過して、60 歳だった方が 80 歳となり、海外へ出掛けるのがきつくなって退会される方が年々増加している。また、今年度も会費未納者が現在、60 名ほどおり、9 月までは会費納入だけですぐ会員復活となるが 10 月 1 日以降は、自動退会となるので各支部毎の未納者リストを配布し、会費納入の働きかけを依頼して会員減少を防ぐ予定である。会費を支払ったかどうかを忘れていている会員も多い。

議長は平成 30 年度活動予算案について賛否を諮り、出席者 34 名+書面・電子表決権者 180 名、計 214 名の賛成多数で、定款第 27 条に基づき可決承認された。賛成多数で承認された。

**（6）第 6 号議案 「南国暮らしの会 定款改訂（案）について」**

小西理事より定款改訂の内容について改訂（案）（会報春季号 P. 18～19 参照）に基づき詳細な説明がなされた。

現行の定款は平成 13 年に改定後、平成 28 年に微小改訂したものの、会の活動実態との差異が目立つようになり、改訂の必要性が論じられていた。今回、定款を作成、維持されてきた先人のご苦労も勘案しつつ、NPO 法改正（平成 24 年 4 月及び平成 29 年 4 月施行）を機に、都庁からの指摘内容を中心に、必要最小限の改訂に踏み切った。

具体的には、NPO 法人定款に従って「南国暮らしの会」定款 52 条の「残存財産帰属」が今は赤十字社になっているが、これは NPO 法に該当しない為、NPO 法に整合させた等である。

※（本議案に関連する質問、要望事項）

質問、意見など無し

議長は「南国暮らしの会 定款改訂(案)」について賛否を諮り、出席者 34 名+書面・電子表決権者 181 名、計 215 名の満場一致の賛成で、定款第 50 条に基づき可決承認された。

**（7）その他、役員業務分担表について**

「平成 30 年度役員・業務分担表」に従い、大野理事長より新年度の役員の業務分担の説明及び、退任、新任理事の紹介と挨拶がそれぞれなされた。

理事が 18 名から 12 名になり昨年同様に考えると個人負担増であるが、個人負担の軽減を考えた推進を行う。（詳細は、今回は会報の夏・秋季号の発行が無い為、ML や BBS に掲載予定）

最後に会場から第 21 期理事長の今後の抱負について発言要望があった。

阿部新理事長より、「役員の業務の簡素化、新入会者の増強、会員の退会員減の歯止め、入会時の入会費、資料代と他クラブの入会金無料との比較」など、理事が 18 名から 12 名になるが業務の負担にならないよう簡素化し、他の会員の方々の協力も今まで以上にお願いたいの抱負が盛り込まれた挨拶がなされた。

議長は本日の総会における議案のすべてが終了したことを告げ、議事進行に関し出席者の協力を謝し、閉会を宣言した。

以上、この議事録が正確であることを証する。

平成 30 年 5 月 27 日

議 長 小西 隆司

議事録署名人 山科 滋雄

## 平成 30 年 南国暮らしの会 役員・支部長会議議事録

日 時：平成 30 年 5 月 26 日（土） 13：00～16：30

場 所：品川第一区民集会所 第 2 集会室（京浜急行新馬場駅徒歩 5 分）

（住所：東京都品川区北品川 3 - 11 - 16） （電話 03 - 3450 - 2000）

出席者：大野理事長(No.434)、阿部副理事長 (No.1607)、小西副理事長 (No.1763)、桂北海道支部長(No.1285)、佐藤東北支部長(No.1027)、高島東海支部長(No.1601)、大川関西支部長 (No.501)、朝永九州支部長 (No.581)、今野理事 (No.670)、宮原理事 (No.1207)、渋谷理事 (No.1208)、高橋理事 (No.1225)、横山理事 (No.1323)、寺田理事 (No.1388)、吉田理事 (No.1575)、川野理事 (No.1640)、明間理事 (No.1733)、久保田次期理事候補 (No.1657)、定國次期理事候補 (No.1712)、丸山次期理事候補 (No.1717)、山科監事 (No.1068)、肥後監事 (No.1591)、兼森理事 (No.1431) 記

議長大野理事長からの事前指名により、司会を小西総務部会長が務めた。

小西総務部会長より本日の会議出席者は、理事 12 名 監事 2 名 支部長 6 名 次期理事候補 3 名 合計 23 名の出席であるとの報告の後開会を宣言した。

大野理事長より平成 30 年役員・支部長会議の開会の挨拶がなされた。

役員・支部長の自己紹

会議に先立ち本日出席の役員・支部長の自己紹介が行われた。

### 1. 役員・理事の選任及び推薦について

大野理事長より役員・理事の選任について説明がなされた。

退任理事：No.434 大野悦子、No.1388 寺田光江、No.1207 宮原正宇、No.1208 渋谷幸一  
No.670 今野力男、No.1032 瀧川清人、No.1431 兼森省治、No.1668 榎野昭一  
No.888 勝本隆文、No.1704 北峯康夫

新任理事：No.1601 高島 恵（東海支部長兼務）、No.1657 久保田清文、No.1682 守田章  
No.1712 定國 和、No.1717 丸山俊江

退任監事：No.1591 肥後信彦

再任監事：No.1068 山科滋雄

### 2. 平成 29 年度事業報告と南の会の現状

大野理事長より事業報告があり、国内及び海外支部の支部長交代で、東海支部はNo.1601 高島 恵氏、関西支部はNo.501 大川泰永氏が、クアラルンプール支部はNo.1822 酒田 充氏がそれぞれ就任された事、昨年 10 月よりのチェンマイ支部の古ストックキングの提供協力の再開、同じく 10 月よりの南国 ML の復活等、会報 2018 年春季号 3～4 頁に記載の内容の報告が行われた。

宮原広報部会長より同好会のありよう方向性を今後の理事会で検討されてはどうか。自然発生的に同好会が出来ているが、立ち上げているのは南の会の会員である。これら同好会への予算配分は南の会としては難しい為行っていない。同好会が南の会の傘下である下部組織のように宣伝されているが実態はそうでもない。対外的に同好会をそのように宣伝するのであれば、今後のやり方を検討する必要があるのではとの提言がなされた。

### 3. 平成 30 年度事業計画・役員業務分担

大野理事長より平成 30 年度事業計画・役員業務分担案についての報告がなされた。

会報は年 2 回とし、ネットを活用する方向で検討していく。会報を「南国暮らしの会」HP にも掲載する。南国 ML も復活したので活用する方向で検討する。その他詳細は会報 2018 年春季号 16 頁に記載の内容の通り。役員業務分担案に関して、次期理事長は阿部滋敏氏 (No.1607)、副理事長・総務部会長は小西隆司氏 (No.1763)、総務部に経理とネットを加えた体制とする。支部推進委員会会長は高島恵氏(No.1601)、会報部会長は吉田博氏 (No.1575)、広報部会長は定國和氏 (No.1712)、会員部会長は守田章氏 (No.1682)、尚大野理事長は相談役となる説明がなされた。

今野理事より役員業務案は決まったら BBS に投稿して欲しいとの提案があった。  
小西副理事長より本人事案は総会の後、議事録と一緒に報告されると説明された。

#### 4・各支部の活動報告

① 平成29年度、活動報告について（国内支部は会計報告を含む）

2018年春季号8頁～10頁に記載の内容に従って、北海道支部、東北支部、関東甲信越支部、東海支部、関西支部、九州支部の各支部長より活動報告及び会計報告が行われた。

② 平成30年度、活動計画について

平成30年度の活動計画について報告が行われた、各支部の内容は下記の通り。

#### 北海道支部活動計画

- 1) 総会及び例会（懇親会も同時開催）2回（6月3日・10月14日）
- 2) サロン会（ランチ主体）2回（8月・11月）
- 3) 女性会員（家族会員含む）サロン会（夏予定）
- 4) 役員会 4回（4月、6月、9月、3月予定）
- 5) ゴルフ懇親会 2回（5月、9月）
- 6) 『この指とまれ～お試しLSの旅』 年1～2回 実施予定  
※本年度は11月に [NZへのLSの旅] を企画、実施予定(7～8名参加予定)
- 7) 南の会メンバーの [夏の北海道LS] の支援・ミーティング等各支部との交流も行いたい。

#### 東北支部活動計画

- 1) 今年度 支部総会&情報交換会&懇親会を2回実施予定  
第1回⇒30年4月15日・実施済 参加者6名  
山形県湯浜温泉1泊2日（花見・小旅行も同時実施）  
第2回⇒30年9月30日（日）（宮城又は山形のホテル1泊2日）予定
- 2) 希望者でセブ、ダバオ視察旅行を今年度3回実施予定  
第1回30年6月頃 ・第2回30年10月頃 ・第3回31年2月頃

#### 関東甲信越支部活動計画

- 1) サロン会&懇親会 10回 8月と2月除き毎月実施
- 2) パソコン・スマホ教室 12回 原則毎月実施
- 3) ロングステイフェア(11月26日) 参加 支援
- 4) 小旅行  
『この指とまれ』国内外問わず積極的に企画&実施
- 5) 南国テニス サークル活動として原則毎月開催
- 6) サークル活動 新規立ち上げを推進  
(例・プチ・グルメの会など)

#### 東海支部活動計画

- 1) 定例会&懇親サロン会 5回 1月を除く毎月第2日曜日開催
- 2) 平日サロン会 6回 定例会の次の週の月曜日（祝日の場合は翌日・1月は新年会）
- 3) 下見ツアー [この指とまれ] 方式でベトナム・北海道・チェンマイ等の下見ツアーが候補
- 4) 同好会
  - ① ゴルフ同好会年6回
  - ② 脳トレ麻雀教室年6回
  - ③ PC・タブレット・スマホの勉強会適宜
- 5) ミニサロン会 [内容⇒浜松ミニサロン会など遠方の会員と交流を図る]
- 6) 支部役員会 必要の都度
- 7) 行事
  - ① 会員拡大の為『ウィルあいちフェア』に参加
  - ② オールドフレンズクラブを適宜開催



## ③その他

**関西支部活動計画**

- 1) 支部役員会 5回 必要に応じ随時開催  
(内容⇒例会開催日の午前中に例会の進行確認、次回例会のテーマ検討等)
- 2) 例会・サロン会 5回 隔月開催  
(内容⇒4月・6月総会&例会・8月・10月・12月・2月は中止)
- 3) 各種親睦行事 随時  
(ゆりの会⇒女性会員の親睦会・ゴルフ・ハイキング・食事会  
パソコン教室・下見ツアー等)
- 4) 麻雀同好会をやってほしいとの要望あり。

**九州支部活動計画**

- 1) 支部総会 6月4日 29年度事業報告・決算報告  
30年度事業計画・決算計画
- 2) 情報交換会 4回 4月→観桜・情報交換会(熊本市)  
5月と10月→情報交換会・パソコン勉強会(福岡市)  
1月→新年会・情報交換会・パソコン勉強会(福岡市)
- 3) サロン会(随時実施)
- 4) 役員会(随時実施)
- 5) 親睦旅行(随時実施)
- 6) その他。熊本から高雄への直行便があるので活用を考えている。蕎麦打ちの復活を計画している。

**5・各支部からの提案及び要望等****◆朝永九州支部からの要望**

1. 部外講師に講演を頂いた場合、その内容を聴講出来ない会員にも紹介してもらいたいとの要望。  
関東甲信越支部のサロン会は、専門の講師を招いて有意義な講演があるが、参加したいと思っても地方からでは無理なので。
2. 年度途中での会員の募集をやっており、年会費の月割りは出来ないか。  
この問題は昨年も出されており、ルール化するのであれば理事会で審議すべきとの意見が出された。
3. 新規会員は支部長にしかメールが行かない。他会員は知る方法はないかとの質問。  
会員部会より個人情報の問題で支部長に情報は連絡が基本との回答。

**◆大川関西支部長からの要望**

会員をどう増やすか。入会金を無くしてほしい。もう一方のロングステイクラブは取らない。各支部の催しに入会しなくても参加できないかなど、発想を転換して検討してほしい。  
一つの方法として南国のホームページは会員向けのように感じるので、広く参加を呼び掛ける形に見直しを検討してほしい。  
講師派遣については無料で講師に来てもらえるものがあり、インターネット等でも調べられるとの情報があった。

**◆高島東海支部からの要望・提案&意見**

- 1) ロングステイのハイシーズンに定例会に出席する会員が少ない時の他支部の対応をお聞きしたい。
- 2) 会員を増やす為の本部や他支部の工夫についてお聞きしたい。
- 3) 支部予算を増やす為、会報を全て電子版にするのはどうか？

(反対意見として→紙面の会報は新会員獲得に使用する活用法も有る) 紙の方がいいという意見もある。

- 4) 分析して会報が最大の支出要員だとすると支出抑制手法は 廃止か発刊回数を減らす・単価を安くするかだと思う。  
(ア)減らす(発行回数?部数?) 場合原価が下がる分岐点は 何冊か?  
(イ)安くする場合、東京頼りでいいのか?
- 5) ネット利用不可(IT弱者)の会員対応について  
以前にこの件をよく議論し総務役員が議事録を郵送等した(自腹で)  
何故か?→会則に「メールできる」は入会条件に無い。
- 6) 過去、別件で「南の会」は法廷闘争をした。その事に対する事実の伝承  
再発、未然防止は出来ているか その経験が生かされているか?

#### 6・その他(各分会及び委員会からの連絡、要望等も含め)

会報委員会から今回会報を2回にする事の理由は会報印刷代等1回40万円で3回やると120万円で全体予算の6割使うことになる。支部の予算を減らすとかやってもやり様が無いので取り敢えず2回にする。今は紙からネットの時代になっているが紙に対する郷愁のある人もいる。会報印刷2回をゼロ回にするかどうかも含めて今後特別委員会を立ち上げて検討していきたい。余った金は支部の予算に回すのかそれとも会費を下げるのかも含め検討していきたい。今年度は新年号と春号の2回とし夏秋号はなくなる予定であるとの報告があった。

議長は、本日の役員・支部長会議における議案の全てが終了したことを告げ、議事録署名人として小西副理事長を選任することを全員異議なく承認した。

大野理事長からの閉会の挨拶があり、役員会・支部長会を終了した。

平成30年5月26日

**NPO 法人南国暮らしの会**

議長 大野悦子 ㊟

議事録署名人 小西隆司 ㊟

## 平成 30 年度 (21 期) 役員 業務分担表

2018年5月12日

◆理事業務分担 凡例：◎部会長 ○副部会長 南国暮らしの会

担当部門	担当理事	業 務 内 容
I 理事長	◎1607 阿部 滋敏	・会総括代表・総会、臨時総会招集・現状情報収集・資産管理 ・理事会、役員会招集・理事会議長・官庁関係資料の提出
II 副理事長	◎1763 小西 隆司	・理事長の補佐 ・各部会総括
総務部会 (事務局)	◎1763 小西 隆司 ○1640 川野 俊次 1225 高橋 眞治 1717 丸山 俊江	・定款(会則)等の改廃・日常運営案の作成・予算案の作成 ・官庁関係資料の作成 ・総会、例会、懇親会、催しの等企画及び実施、同会費徴収、 テーマ策定 ・会場設定、運営、記録、発表、総会議事録作成・各委員会の まとめ及び確認 ・理事(役員)会テーマ策定資料・理事(役員)会招集実施(会場設定、 運営管理、記録、発表) ・理事(役員)会議議事録作成・税務関係(法人税、資産税管理等) ・「南の会」必携編集作成
(経理) (ネット)	○1733 明間 崇文 1657 久保田清文 ○1601 高島 恵 1712 定國 和	・入会金、年会費徴収・一般収支・金銭出納記録・決算の事務 ・会費納入票回送 ・南国掲示板(BBS)運営 ・会員メールアドレスの管理
支部推進 部会	◎1601 高島 恵 ○1682 守田 章	・支部統括 ・支部活動支援
会報部会	◎1575 吉田 博 ○1640 川野 俊次 1323 横山 正紀 1733 明間 崇文	・会報等の原稿収集、編集、整理、校正、印刷、製本、発送 ・会員への情報提供及び会員からの情報収集 ・年2回(新年・春)発行
広報部会	◎1712 定國 和 ○1717 丸山 俊江	・「南の会」の対外的広報活動・マスコミ取材窓口(ロングステイ財団窓口) ・他機関への投稿・新聞、雑誌等の関係情報収集
会員部会	◎1682 守田 章 ○1225 高橋 眞治 1323 横山 正紀	・会員入退会・会費等の納入チェック・問合せ者の資料等の作成 及び発送 ・会員名簿作成・問合せ向け「南の会」案内書編集作成 ・会員からの情報収集・会員証発行 ・会報等の送付先の掌握及び宛先シール作成(会報部会と連携)
監事	732 馬場 章介 1068 山科 滋雄	・理事の業務執行状況の監査・この法人の財産の監査 ・定款に違反する重大な事実が発見されたら総会を招集し 報告又は所轄庁に報告 ・理事会業務執行に対する会員苦情等の精査
相談役	434 大野 悦子	・会運営のキャリアを活かした理事長及び理事への支援

**平成 30 年度 委員会の構成表**平成 30 年 6 月 2 日  
南国暮らしの会**◆委員会および構成員** 凡例：◎委員長 ○副委員長 \*理事以外（凡例に会員No.順掲）

総務委員会	◎1763 小西隆司 ○1640 川野俊次 1225 高橋眞治 1607 阿部滋敏 1717 丸山俊江
経理委員会	◎1733 明間崇文 ○1657 久保田清文 *434 大野悦子 *1032 瀧川清人 *1537 鈴木元恵
ネット委員会	◎1601 高島 恵 ○1712 定國和 *60 渡辺義郎
支部推進委員会	◎1601 高島恵 ○1682 守田 章 *670 今野力男
会報編集委員会	◎1575 吉田博 ○1640 川野俊次 1323 横山正紀 1733 明間崇文 *1208 澁谷幸一 *1309 青木一義
広報委員会	◎1712 定國和 ○1717 丸山俊江 *1207 宮原正宇 *1388 寺田光江
会員担当委員会	◎1682 守田章 ○1225 高橋眞治 1323 横山正紀 *923 永田隼人 *1388 寺田光江 *1784 吉開博 *1779 青木利行 *1834 小林邦彦
HP委員会	◎*996 歌田晃一 *1391 十河和夫 (北海道支部：*245 佐藤真理子、九州支部：*581 朝永美代子)
特別委員会	◎IT化検討委員会 ◎20周年記念検討委員会
規定・必携編集委員会 官公庁申請	◎1763 小西隆司 ○1640 川野俊次 1607 阿部滋敏 *434 大野悦子 *1017 光城保之
国内支部	・北海道支部長 1285 桂 裕章 ・東北支部長 1027 佐藤周司 ・関東甲信越支部長 1591 肥後信彦 ・東海支部長 1601 高島 恵 ・関西支部長 501 大川泰永 ・九州支部長 581 朝永清寿
海外支部	・バギオ・バンガシヤ支部長 227 斎木 一 ・チェンマイ支部長 239 伊藤 寛 ・ペナン支部長 1402 橋本哲男 ・ゴールドコースト支部長代行 586 磯崎興志 ・マニラ支部長 ・ダバオ支部長 1261 藤本晴久 ・クアラルンプール支部長 1822 酒田 充 ・ハワイ支部長 1278 外池一子 ・セブ支部長 1623 田口秀男 ・バンコク支部長

記事の無断転載・複製を禁じます。

発行者 特定非営利活動法人 (NPO法人)

「南国暮らしの会」

© minaminokai